

2023 年 1 月 26 日

各位

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社

岡山県西栗倉村が発行する J-クレジットの購入について

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社(取締役執行役社長:高倉 透、以下「当社」)は、カーボンニュートラルへの貢献を目的として、岡山県西栗倉村(村長:青木 秀樹)が発行する森林吸収由来の J-クレジットを購入することを決定しました。

1. 岡山県西栗倉村について

岡山県西栗倉村は、2009 年より「百年の森林構想」を立上げ、施業地の集約による効率化やローカルベンチャー誘致による木材の地産地消、ボイラーやバイオマス発電の設置によるチップ材の有効活用等、林業の活性化に取り組むほか、水力発電や太陽光発電によるエネルギーの地産地消にも取り組み、2019 年7月に SDGs未来都市、2022 年 4 月に脱炭素先行地域に指定される等、地域活性化に先進的に取り組んでいます。

当社の連結子会社である三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「三井住友信託銀行」)は、岡山県西栗倉村にて2020 年 8 月に商事信託として本邦初となる森林信託を受託しました。三井住友信託銀行は、森林信託による施業地集約を起点として、ローカルベンチャーの集積、新しい商品開発による付加価値創造を行う「百年の森林事業」に参画し、地域経済エコシステムの構築と発展に貢献しています。

2. Jクレジットについて

今般、当社は西栗倉村が発行した J-クレジットを 500 トン購入することを決定しました。これは当社が岡山県で排出する CO₂ の約 3 年分に相当します。J-クレジットの購入代金は、西栗倉村を通じて百年の森林事業の施業費に充当されるため、森林整備による CO₂ 吸収量を更に増加させる好循環の創出にも繋がります。

当グループは、森林信託の受託を起点に、森林資源の整備活用による災害に強い森林整備や、脱炭素社会に貢献することで地域社会の活性化、豊かな未来の実現により一層取り組んでまいります。

以 上